

ARIBの動き

第133回業務委員会が開催される

第133回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1 日時 2007年10月17日(水) 午後2時から3時30分まで

2 場所 当会第2会議室

3 議事概要

事務局から次の事項について、報告と説明がありました。

- (1) 国際普及活動の体制について
- (2) 平成20年度税制改正要望書の提出について
- (3) ロシアICUからの協力関係の樹立の要請について
- (4) 当会の活動状況について

第138回技術委員会（通信分野）が開催される

第138回技術委員会（通信分野）が開催されましたので、その概要をお知らせいたします。

1 日時 平成19年10月24日(水) 午後2時から3時55分まで

2 場所 当会第2会議室

3 議事概要

事務局から次の事項について、報告と説明がありました。

- (1) 国際普及活動の体制について
- (2) 国際電気通信連合無線通信総会の結果について
- (3) 「周波数再編アクションプラン」の見直しについて
- (4) その他、事務局から当会の事業スケジュールについて

電気通信・放送
行政の動き

ITU無線通信総会（RA-07）の結果
（平成19年10月22日総務省報道発表）

平成19年10月15日（月）から同19日（金）まで、スイス（ジュネーブ）において、ITU無線通信総会（RA-07）が開催されました。

本会合における主な結果は次のとおりです。

1 主な結果

(1) 次期研究会期のSG構成

現在のSG4、SG8及びSG9を、地上系業務を扱うSG（新たにSG5と命名された。）と衛星業務を扱うSGの2つに再編し、合計6つのSG構成となりました。次研究会期の研究体制は下図のとおりです。

(2) SG議長・副議長の選出

我が国から立候補していた以下の3名全員が議長及び副議長に選出されました。

- ・ SG5 議長 橋本 明（NTTドコモ）
- ・ SG4 副議長 阿部 宗男（KDDI）
- ・ SG6 副議長 西田 幸博（NHK）

SG5の議長には、日本、韓国及びニュージーランドからの3人が立候補していましたが、日本の橋本氏をSG議長に、韓国、ニュージーランドの候補を副議長にそれぞれ選出することで合意されました。

(3) IMT関連決議・勧告

(ア) IMTの名称に関する新決議

IMT-2000後継システムを「IMT-Advanced」、IMT-2000及びIMT-Advancedを総称して「IMT」とする新決議が承認されました。

(イ) IMT-Advanced国際標準化の基本指針に関する新決議

IMT-Advancedの国際標準の策定において、加盟国等への提案募集、提案技術の評価、コンセンサス形成等のプロセスの原則を定める新決議が承認されました。

(ウ) IMT-2000の詳細無線インタフェース勧告の改訂

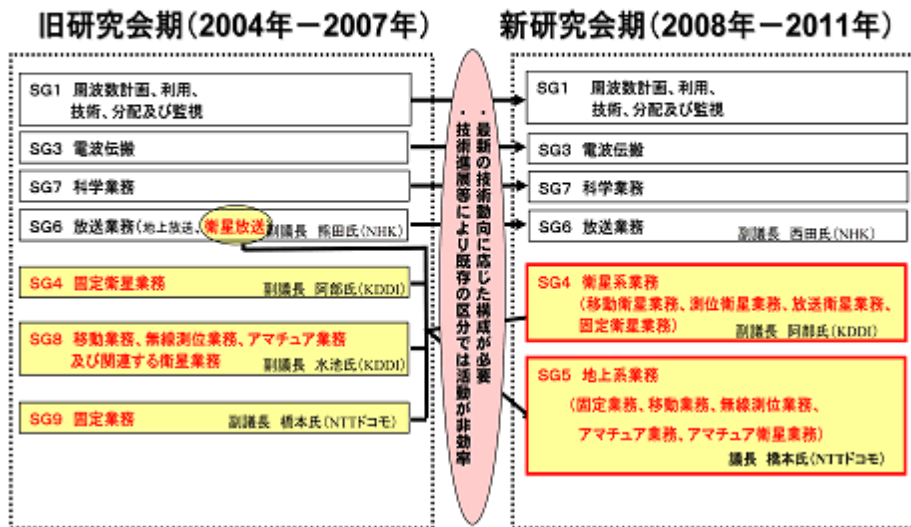
IMT-2000の既存無線インタフェースの高度化及び新たな無線インタフェースとしてIMT-2000 OFDMA TDD WMAN（通称、Mobile WiMAX）の追加を行う勧告の改訂について、一部の国から異議が唱えられましたが承認されました。

2 今後の予定

総務省は、この結果を踏まえ、我が国の無線通信システムの発展、国際競争力強化に向けて努力するとともに、国際標準化活動が円滑に行われるよう、引き続きITUへ積極的に貢献するとしています。

詳細については<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/071022_2.html>を参照してください。

次研究会期の研究体制について



アジア・太平洋電気通信標準化機関（ASTAP）第13回総会等の結果 (平成19年10月9日総務省報道発表)

平成19年10月1日（月）から同4日（木）まで、チェンマイ（タイ）において、第13回ASTAP総会、同月5日（金）にWTSA-08（世界電気通信標準化総会、来年10月開催予定）に向けたアジア・太平洋地域での第1回準備会合が開催されました。

本会合における主な結果を報告します。

1 主な結果

(1) 標準化格差是正に向けた取組

我が国からは、ITU-Tへの開発途上国の参加促進に向けたこれまでの我が国の取り組みを紹介するとともに、標準化格差是正に向けた行動計画の実施を提案しました。その結果、WTSA-08に向けて問題解決に向けた具体的な方策等を検討することになりました。

(2) 防災無線に関するAPT勧告案

我が国の提案した「災害管理無線通信システム」がAPT勧告案として採択され、第31回APT管理委員会（本年11月下旬に韓国にて開催予定）において承認を求めることが合意されました。

(3) WTSA-08に向けた検討

NGNをはじめとする新たな技術の標準化に際して、標準化格差是正に資するため、チェックリストをつけるなどして途上国の観点を取り込まれるよう勧告化手続きを改正していく等のAPT共同提案をWTSA-08へ提出するべく、具体的な作業に着手することが合意されました。

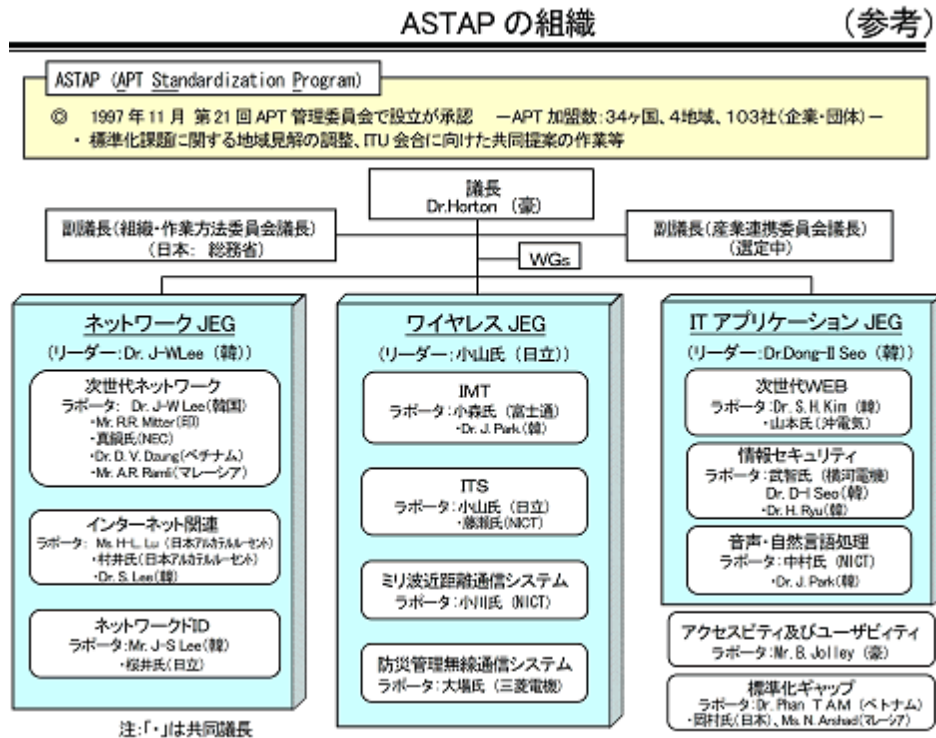
(4) 次回会合の開催予定

次回ASTAP総会及び第2回WTSA準備会合を2008年6月9日（月）から13日（金）を候補日として、日本がホストすることを提案し、合意されました。

2 今後の予定

総務省は、この結果を踏まえ、次回ASTAP総会及び第2回WTSA準備会合に向けて、アジア・太平洋地域の標準化連携の強化、同地域に最適なネットワークソリューションの提案等を行ってくとしていきます。

詳細については<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/071009_2.html>を参照してください。



「次世代の情報セキュリティ政策に関する研究会」の開催 (平成19年10月18日総務省報道発表)

総務省では、現状のインターネット及び将来のICT利用環境における多種多様なネットワーク上の脅威について課題や対策を抽出し、今後、取り組むべき情報セキュリティ政策の在り方を検討することを目的として、「次世代の情報セキュリティ政策に関する研究会」を開催することとしました。

1 背景・目的

ブロードバンド化の進展により、国民生活や社会経済活動におけるICTへの依存度が高まる一方で、ICTの安心・安全な利用に対する要求が高まり、情報セキュリティに対する取組はその重要性を増しています。

総務省では、これまでも様々な情報セキュリティ政策に取り組み、我が国の安心・安全な情報通信環境の整備を行ってきたところですが、昨今では、ネットワークを経由したウイルス感染の巧妙化・高度化、あるいは被害の深刻化等が進展している状況とされています。

本研究会では、現状のインターネット等における具体的な脅威を洗い出し、

その脅威に起因する情報セキュリティ事案の状況・傾向を明らかにするとともに、将来におけるICT利用環境を想定し、NGNなどの多種多様なネットワーク上の脅威に対して必要となる取組など、課題や対策等を抽出し、国際的な連携の在り方等も視野に入れつつ、今後、総務省として取り組むべき情報セキュリティ政策の在り方を検討するとしています。

2 検討内容

- (1) 現状のインターネット等における具体的な脅威の洗い出し
- (2) 脅威に起因するインシデントの最近の動向と傾向
- (3) 将来のネットワーク環境・利用環境（NGN、IPv6、移動体端末等）における脅威分析と課題抽出
- (4) 今後、取組が求められる情報セキュリティ政策の方向性

3 開催期間

平成19年10月23日（火）に第1回会合を開催し、平成20年6月に取りまとめを行う予定です。

詳細については<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/071018_1.html>を参照してください。

編集後記

この季節、通勤電車の線路沿線の景色を眺めていると、雑草の中で、白いススキの穂とセイタカアワダチソウの黄色の花が特に目立ちます。ススキは日本古来の在来種で、一方、セイタカアワダチソウは北米原産の外来種とのことです。この二種類の雑草は河原や空き地などに群生し、競合状態にあるようです。セイタカアワダチソウは主に地下茎で繁殖し、繁殖力が強い上、他種の繁殖を抑制する物質も分泌しているようです。

電車の窓からみていると、その勢力はススキの方が劣勢で、どうもセイタカアワダチソウに押され気味のように見えます。そういえば最近の日本でも外来のものが優勢になってきたような気がします。

もっと、日本古来の文化、伝統も大切にしたいものですね。

(N.K.)